

5 作品加工・製作

1) 収納付きカウンター部材の部材取り

- ・再利用する板材をパネルソーや手鋸を使い
いで切断をしました。



2) 収納付きカウンター部材の加工

- ・機械で出来る部分は極力機械を使い、細
かい部分については手作業で行い、必要
なパーツ全ての加工をした。加工の中で
特に注意したことは機械の安全な操作で
した。

3) 扉の加工・製作

- ・角材をパネルソーで切りだし、丸ノコ盤
で溝を掘り、耐水ベニアを溝にはめ込み
扉を製作しました。

4) 天板の加工・製作

- ・集成材の板を天板サイズに切断し角取り
などをしました。



6 組み立て・仕上げ研磨

1) 木部全般の組み立て

- ・木材での製作部分は、固定する箇所にキ
リで、道穴を空け、次に仮止めを兼ねた
ボンド付けを行い、スクリューネジまた
は木ねじを打ち固定した。その際、合板
がそっていたため修正をかけながらの作
業となり固定はとても大変だった。



2) 収納付きカウンターの扉の組み立て

- ・扉枠にベニヤ合板をボンド接着し、はめ込み組み立てた後、コーナー固定ベルトで完全に乾燥するまで固定した。



は、塗りむらができて3回以上重ね塗りをし、むらをなくし艶も出した。



3) 表面の仕上げ

- ・木部の表面は全て綺麗にするために紙ヤスリとドレッサーで研磨仕上げをした。



8 まとめ

要望を検討した収納付きカウンターが無事完成することができ、さらに当初計画した位置にぴったりと収まりとても満足できるものとなった。今回のことで、出来た作品の完成度も大切だが、それよりも計画から調査・検討・製作図の過程をしっかりと行うことが大切であるということが解った。

7 仕上げ塗装

1) カウンター部材の塗装

- ・側面はハケを使い、ニスで見える必要最低限の面のみを塗装した。扉もニスで塗装した。

2) 収納扉の塗装と金具の取り付け

- ・扉は馬淵・山内ペアに協力してもらい、樹脂塗料を用いて何度も重ね塗りをすることで艶をだし、金具は斜めに取付けてみた。

3) 収納棚の塗装

- ・この工程で大変だったことは、ハケ塗り





9 感想

～安藤 敦輝～

要望にそった収納付きカウンターを作る過程で色々な機械、道具の使い方や採寸の仕方、合板の切断の仕方などが学べてよかった。寸法通りに合板を切断する際に、思い通りにいかないことや、物作りの難しさを改めて知りました。塗装ではムラをなくすために工夫して塗装する方法などを学びました。

収納付きカウンターを製作する中で、これから生かしていける経験ができ、学ぶことが多かったのがよかったです。

～安藤 諒～

今回の課題研究では、収納付きカウンターを作りました。作成していく中で、初めて使う機械や、道具がありました。初めはなれない作業をするのでうまくいかないこともありました。が、何度も道具を使っていく内に、徐々に慣れてきてスムーズに作業ができるようになりました。今回の課題研究でさまざまな機械や道具を使い、いろいろな技術やコツをつかむことができましたが、作業に慣れてきてからこそ油断すること無く身の安全と共に周りに気を配り、「安全第一」で作業することの大切さを知ることができました。

10 完成作品の設置風景

